

平成 22 年度事業報告書

I 事業報告

公益目的事業 1

国内の研究者を対象としたがん薬物療法に関する革新的治療法に対する研究助成及び表彰並びにがん薬物療法に関する先駆的治療法に対する研究助成（定款第 5 条第 1 項第 1 号、第 3 号、第 5 号）

第 3 回研究助成

平成 22 年 6 月末日に研究結果報告を 13 名助成者全員分受領しました。当法人会誌「展望」No4 に要旨を掲載済み

第 4 回研究助成

公募時期	平成 21 年 11 月 1 日～平成 22 年 2 月 26 日
公募方法	ホームページ、ポスター及び「癌と化学療法」誌等
応募結果	革新的研究基礎：9 名、革新的研究臨床：3 名 先駆的研究基礎：82 名、先駆的研究臨床：32 名 合計：126 名
助成決定	平成 22 年 5 月 13 日選考委員会及び同月 24 日理事会で審議決定
助成対象者	革新的研究基礎：1 名、革新的研究臨床：1 名 先駆的研究基礎：7 名、先駆的研究臨床：3 名
助成金額	革新的研究基礎：300 万円、先駆的研究 100 万円 総額 1600 万円
表彰対象者	革新的研究：2 名
贈呈式	平成 22 年 6 月 26 日

第 5 回研究助成

公募時期	平成 22 年 11 月 1 日～平成 23 年 2 月 22 日
公募方法	ホームページ、ポスター及び「癌と化学療法」誌等
応募結果	革新的研究基礎：6 名、革新的研究臨床：6 名 先駆的研究基礎：67 名、先駆的研究臨床：36 名 合計：115 名

第4回 研究助成金贈呈者一覧

平成22年5月24日

がん薬物療法に関する革新的治療法に対する研究助成及び表彰（革新的研究）

	研究者氏名	所 属 機 関 名
基礎	菊池 章	大阪大学大学院医学系研究科・医学部・分子病態生化学
	研究課題名	抗Wnt5a抗体を用いた新規癌治療法の開発
	受賞理由	当該分野の研究において、具体性をもった薬剤はなく、研究として世界をリードしている。今後、新たな展開とその成果が期待される。
臨床	直江 知樹	名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学
	研究課題名	活性化シグナル分子を標的とした新規標的治療薬の開発
	受賞理由	STAT3/5のリン酸化及び活性化を阻害する新しい分子標的治療薬の開発により、今後の白血病に対する治療への貢献が期待される。

がん薬物療法に関する先駆的治療法に対する研究助成（先駆的研究）

	研究者氏名	所 属 機 関 名
基礎	井戸川 雅史	札幌医科大学 医学部 附属がん研究所 分子生物学部門
	研究課題名	ゲノム網羅的miRNAスクリーニングによるp53/miRNA共発現ベクターを用いた癌治療法の開発
	河野 隆志	独立行政法人国立がん研究センター研究所 生物学部
	研究課題名	遺伝子多型に基づく肺がんの抗がん剤治療効果予測法の開発
	大木 理恵子	独立行政法人国立がん研究センター研究所 細胞増殖因子研究部
	研究課題名	新規がん抑制遺伝子PHLDA3によるがん遺伝子Aktの抑制機構の解明
	富田 章弘	財団法人癌研究会・癌化学療法センター・ゲノム研究部
	研究課題名	がん細胞の特徴的な増殖環境への適応メカニズムとその治療標的化に関する研究
	醍醐 弥太郎	滋賀医科大学総合がん治療学講座・腫瘍内科
	研究課題名	肺癌の発生・悪性化の分子病態に関わるゲノム動態制御分子の体系的探索と新規薬物療法の開発
	加藤 将夫	金沢大学・医薬保健研究域（薬学系）・分子薬物治療学研究室
	研究課題名	腫瘍細胞に高発現するペプチドトランスポーターを標的としたがんの診断と治療
	小賤 健一郎	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 遺伝子治療・再生医学
研究課題名	オリジナルの癌細胞特異的増殖制御型アデノウイルス技術による癌幹細胞の同定と治療法の開発	
臨床	井上 彰	東北大学病院 呼吸器内科
	研究課題名	循環腫瘍細胞（CTC）のEGFR耐性遺伝子変異同定に基づく肺癌個別化治療の開発
	曾田 学	自治医科大学 分子病態治療研究センター ゲノム機能研究部
	研究課題名	肺がんの新規原因遺伝子EML4-ALKの発見と臨床応用
	種村 匡弘	大阪大学大学院医学系研究科外科学講座 消化器外科学
研究課題名	がん幹細胞を標的とした糖鎖リモデリングがん免疫療法の開発とがんワクチンバンクの設立	

会誌発刊

会誌「展望」No4 を発刊し、がん薬物療法の研究助成に関連する最新情報等を掲載するとともに、最新がん薬物療法の現状と展望並びに当法人に関する情報を掲載し、無償で配布し、医療関係者の閲覧を依頼した。本号より、公益目的事業3の開始に際して、薬剤師及び看護分野からの寄稿をお願いし、がんに対するより多面的な現状と展望の構成となりました。

刊行時期 平成 22 年 10 月 29 日

刊行部数 約 4000 部

配布対象 医学系・歯学系・薬学系の大学、大学病院及びがん診療連携拠点病院並びに日本癌学会・日本癌治療学会・日本臨床腫瘍学会・日本医療薬学会・日本がん看護学会の評議員

会誌名 「展望」

副題 *Promising Vistas in Cancer Research* No.4 2010

構成		頁
	ごあいさつ	松本忠昌 1
	現状と展望	
	「公益財団法人認定と公益法人制度の展望」	古川貞二郎 先生 2
	「がん治療における薬薬連携の現状と展望」	遠藤一司 先生 5
	「がん看護コアカリキュラムの現状と展望」	佐藤禮子 先生 7
	「新しいがん治療の現状と展望 (がん免疫療法)」	上田龍三 先生 10
	研究助成報告	
	「抗 Wnt5a 抗体を用いた新規癌治療法の開発」	菊池 章 先生 13
	「新規シグナル阻害薬の開発」	直江知樹 先生 19
	「第 3 回研究結果報告」(要旨)	23
	「第 1 回がん専門薬剤師海外派遣事業報告」(要旨)	28
	「第 1 回がん専門看護師助成報告」(要旨)	32
	法人情報	
	「平成 21 年度及び平成 22 年度事業経過報告」	33
	「第 4 回 研究助成金受領者一覧」	35
	「第 3 回 研究助成金贈呈式写真」	36
	「最新がん薬物療法に関するシンポジウムの開催及び刊行物を通じた普及啓発活動に対する助成 助成対象者一覧」	36
	「評議員及び役員等名簿」	37

「選考委員名簿」	38
「第5回小林がん学術振興会研究助成公募概要」	39

公益目的事業2

アジア地域の研究者を対象としたがん治療分野のがん薬物療法におけるめざましい社会的貢献に対する表彰（定款第5条第1項第2号）

第1回助成

公募時期	平成22年4月15日～平成22年5月1日
公募方法	当法人及び臨床腫瘍学会ホームページ
応募結果	応募総数：96件 口演：42名、ポスター：54名
助成決定	予め書面にて評価及び意見をもらい、選考委員長が最終評価し、平成22年8月10日の理事会（みなし理事会）で決定
助成対象者	表彰総数：11件 口演：5名、ポスター：6名
助成金額	口演：20万円、ポスター：10万円 総額160万円
贈呈式	平成22年8月27日：アジア臨床腫瘍学会

KFA List of Winners

Abstract No.	Category	Title of Abstract	Applicant			
			Institute	Nationality	Family Name	First Name
32	Oral	Hypermethylation of the RECK gene predicts poor prognosis in oral squamous cell carcinomas	DEPARTMENT OF PLASTIC AND MAXILLOFACIAL SURGERY, HANOI VN-CB HOSPITAL, VIETNAM	Vietnam	NGUYEN	LONG KHANH
33	Oral	A MULTICENTRE PHASE II FEASIBILITY STUDY EVALUATING GEMCITABINE/VINORELBINE/PREDNISOLONE COMBINATION CHEMOTHERAPY IN RELAPSED/REFRACTORY HODGKIN'S DISEASE	Oncology Department, Combined Military Hospital and Medical College, Lahore	Pakistan	Naqi	Naeem
67	Poster	QUANTITATIVE COX2 PROMOTER METHYLATION ANALYSIS IN GASTRIC CARCINOMA	Department of Surgery, Chonnam National University Medical School	Korea	Joo	Jae Kyoon
150	Oral	Quality assurance of the KROG 08-06 study, Phase III randomized trial to investigate the role of internal mammary lymph node irradiation for breast cancer patients	Department of Radiation Oncology, Severance Hospital, Yonsei University Health System, Korea	Korea	Chung	Yoonsun
268	Oral	High-Dose Chemotherapy and Autologous Stem Cell Transplantation in Patients with Peripheral T-cell Lymphoma: Transplantation in the Complete Remission to the First-line Chemotherapy may be the best timing	Department of Medical Oncology, Cancer Institute and Hospital, Chinese Academy of Medical Sciences and Peking Union Medical College (CAMS & PUMC), Beijing China	China	Gui	Lin
282	Poster	Serial Changes in the Expression of Breast Cancer-Related Proteins In Response to Neoadjuvant Chemotherapy	Department of Haematology-Oncology, National University Health System, Singapore	Singapore	Chuah	Benjamin YS
308	Poster	Helicobacter Pylori Infection as an Independent Prognostic Factor for Locally Advanced Gastric Cancer Patients Treated With Adjuvant Chemotherapy After Curative Resection	Department of Hematology-Oncology, Ajou University School of Medicine, Korea (Rep.).	Korea	Kang	Seok Y
382	Poster	A randomized phase II study of irinotecan monotherapy versus irinotecan plus 5-fluorouracil/leucovorin combination as a salvage chemotherapy in previously treated patients with advanced/metastatic gastric cancer	Division of Hematology and Oncology, Department of Internal Medicine, Gachon University Gil Hospital, Incheon, Korea	Korea	Sym	Sun Jin
390	Poster	CDA-2 Inhibits Growth of C6 Glioma Cells Accompanied With Down Regulation of DNA Methyltransferase 1 and Inhibition of Platelet-Derived Growth Factor Receptor and Akt/PKB Signaling	Cancer center, Taipei Medical University-Wan Fang Hospital, Taipei, Taiwan	Taiwan	Lai	Gi-Ming
415	Poster	Identification of predictive factors in the radiosensitivity of glioma cells: special focus on angiogenesis, proliferation and apoptosis as tumor biological behaviours	Department of Neurosurgery, Cipto Mangunkusumo General Hospital, Jakarta, Indonesia	Indonesia	Aman	Renindra, A
442	Oral	TROGLITAZONE MODULATES DOXORUBICIN DRUG RESISTANCE THROUGH MDR1, p53, IL8 and ECOP	DEPT. OF MOLECULAR ONCOLOGY, CANCER INSTITUTE (WIA), ADYAR, CHENNAI, INDIA	India	RAJKUMAR	THANGARAJAN

公益目的事業 3

がんの専門的な知識、技能を有する薬剤師、看護師を対象とした最新のがん薬物療法分野における継続教育に関する助成（定款第5条第1項第4号）

公益目的事業 3-1 がん薬剤師継続教育助成

第2回がん専門薬剤師海外派遣事業に対する助成

助成内容 国際シンポジウムの参加及び米国がん専門病院での実地研修等の助成

公募時期 平成22年1月20日～平成22年4月15日

応募結果 応募者：6名

公募方法 当法人及び日本病院薬剤師会ホームページ等にて公募

助成決定 平成22年5月11日選考委員会、5月24日理事会で審議決定

助成対象者 がん専門薬剤師3名、団長1名

研修者

- | | | |
|-------------------|-----|-------|
| ①鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 | 薬剤部 | 牛山美奈 |
| ②徳島赤十字病院 | 薬剤部 | 組橋由記 |
| ③医療法人社団慈成会東旭川病院 | 薬局 | 里見眞知子 |

団長

旭川医科大学病院・薬剤部 薬剤部長 松原 和夫

助成金額 1名45万円 総額180万円

研修内容 The Chemotherapy Foundation Symposium XXVIII の参加及び Memorial Sloan-Kettering Cancer Center での実地研修等の助成

研修期間 平成22年11月8日～平成22年11月14日

研修結果 平成22年1月5日に団長及び研修者4名全員の報告書を受領した。
展望 No5 に掲載予定

第3回がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師海外派遣に対する助成

助成内容 国際シンポジウムの参加及び米国がん専門病院での実地研修等の助成

公募時期 平成23年1月4日～平成22年3月11日

公募方法 当法人及び日本病院薬剤師会ホームページ等にて公募

助成決定 平成23年3月25日選考委員会、3月30日理事会で審議決定

助成対象者 がん専門薬剤師3名、団長1名

研修者

- | | | |
|----------------|-----|------|
| ①金沢市立病院 | 薬剤部 | 河原昌美 |
| ②大阪医科大学附属病院 | 薬剤部 | 後藤愛実 |
| ③財団法人倉敷成人病センター | 薬剤科 | 今村牧夫 |

団長

独立行政法人国立がん研究センター中央病院・薬剤部 薬剤部長 山本弘史

助成金額 1名45万円 総額180万円

研修内容 The Chemotherapy Foundation Symposium XXIX の参加及び

Memorial Sloan-Kettering Cancer Center での実地研修等の助成
研修期間 平成 23 年 11 月 7 日～平成 23 年 11 月 13 日（予定）

公益目的事業 3-2 がん看護師継続教育助成

第 2 回看護師継続教育助成（平成 22 年度）

助成内容 「がん化学療法看護に関連する日本版がん看護コアカリキュラム作成等」の助成

助成決定 平成 21 年 4 月 10 日理事会で審議決定

助成対象者 日本がん看護学会 理事長 鈴木志津枝

助成金額 200 万円 平成 22 年 6 月 16 日助成金の贈呈

結果報告書 平成 23 年 3 月 31 日 当法人に提出

日本版がん看護コアカリキュラムの冊子（資料添付）をがん医療関連施設等と日本がん看護学会の会員に配布し、また日本がん看護学会ホームページからもアクセス・ダウンロードできるようにした。

第 1 回がん看護専門看護師海外研修助成

助成内容 米国がん専門病院での実地研修及び情報収集等の助成

公募時期 平成 23 年 1 月 10 日～平成 23 年 2 月 28 日

公募方法 当法人及び日本がん看護学会のホームページ等にて公募

助成決定 平成 23 年 3 月 29 日選考委員会、3 月 30 日理事会で審議決定

助成対象者 がん看護専門看護師 3 名、団長 1 名

研修者

①京都大学医学部附属病院 看護部 大内紗也子

②社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷三方原病院 看護部 佐久間由美

③国立大学法人千葉大学医学部附属病院 看護部 奥朋子

団長

慶應義塾大学看護医療学部 教授 小松浩子

助成金額 1 名 50 万円 総額 200 万円

研修内容 米国がん専門病院において、CNS, NP 等とのがん看護に関する実地研修及びワークショップを行うことにより、がん看護の理解を深めるとともにがん看護 CNS, NP の役割等の情報を収集する。

研修期間 平成 23 年 9 月 4 日～平成 23 年 9 月 10 日（予定）

Ⅱ 法人運営（理事会・評議員会）

『公益財団法人』

【第2回理事会】

開催時期 平成22年5月24日

開催場所 丸の内ホテル ミーティングルーム「びすた」

議 案 平成21年度収支予算変更の承認、平成21年度事業報告及び計算書類並びにこれらの附属明細書の承認、平成21年度財産目録及び収支計算書の承認、第4回研究助成贈呈者の承認、第2回がん専門薬剤師海外派遣事業助成金贈呈者の承認、平成22年度事業の承認、定款変更の承認、定時評議員会招集の承認、その他

『平成21年度評議員会』定時評議員会

開催時期 平成22年6月24日

開催場所 京阪大手町ビル1階プレテンルーム

議 案 平成21年度及び平成22年度事業報告、平成21年度予算変更の報告、選考委員会規程改正報告、平成21年度収支計算書類及びこれらの附属明細書の承認、平成21年度収支計算書及び財産目録の承認、定款変更承認、理事4名選任

【第3回理事会】

開催時期 平成22年6月26日

開催場所 経団連会館5階507号室「平安の間」

議 案 代表理事の選定の承認、公益目的事業2の選考委員選任の承認

【第4回理事会】決議の省略

同意日 平成22年8月10日

議 案 公益目的事業2の選考委員選任の承認、公益目的事業2の表彰者の承認

【第5回理事会】

開催時期 平成23年3月30日

開催場所 丸ビルホール&コンファレンススクエア8階 Glass Room

議 案 平成22年度事業報告、第3回がん専門薬剤師およびがん薬物療法認定薬剤師海外派遣候補者の承認、第1回がん看護専門看護師海外研修助成候補者の承認、乙選考委員7名の選任、丙選考委員5名の選任、丁選考委員4名の選任、平成23年度事業計画書等の承認、その他（次回の理事会の日程について